

## 地域人材ネット

「出会う・つなげる・ふるさとにする～懐かしい未来の創造者～」  
ソーシャル・プロジェクト・コーディネーターの役割

小林 和彦 ( こばやし かずひこ )

元地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員



### ○登録者情報

#### 所在地

沖縄県国頭村

#### 略歴

- ・国土交通省: 新たな結研究会 委員(平成20年度)
- ・(財)地域活性化センター 【地域活性化ビデオ 第33巻】  
「中山間地域」の再生 ～地域の魅力づくりのポイント～ ⇒きらり水源村の取り組み、  
及びインタビュー収録
- ・European Youth Center / Asia Europe Foundation Pool of Trainer 登録

## ○「出会う・つなげる・ふるさとにする～懐かしい未来の創造者～」 ソーシャル・プロジェクト・コーディネーターの役割

### 取組の内容

- ・大学在学中から、(財)昭和聖徳記念財団や神社本庁の協力を得て、(財)小野田自然塾にて子ども達の自然活動や、東南アジア等の海外の森づくり等の活動に従事していた。
- ・H8～14 NPO法人NICE(日本国際ワークキャンプセンター)の事務局長就任し、国内外の国際ワークキャンプを企画、運営していた。
- ・H14～16 世界48カ国を訪問し、238名の友人・知人宅を渡り歩く。旅の途上、(社)韓国ユネスコ協会連盟、International Workcamp Organizationでフェローとして活躍。
- ・H16～22.5 熊本県菊池市の廃校(旧菊池東中学校)の跡地活用として、地域づくりとグリーンツーリズムの拠点施設づくりに取り組む。地域全戸(330軒)参加のNPO法人きらり水源村の事務局長に就任し、地域住民向けの子ども神楽教室、放課後居場所づくり、語学教室、加工所、食堂、物産館、蔵カフェの開設。来訪者向けに食農体験:おいしい村づくり、森林体験:森の学校、森のようちえんごっこ、国際ワークキャンプ等を企画、定住促進のための新規就農者受入支援や地域特産品開発、次世代育成のための、地域リーダー養成塾、ふるさと楽校、田舎で働き隊、中長期ボランティアの受け入れを展開していた。
- ・H22.7～ (株)JTBコミュニケーションズ九州より、八女市新社会推進部観光振興課へ出向。「茶のくに研究所」主任研究員に就任し、持続可能な観光事業推進体制の確立と観光商品づくりに取り組むコーディネーターとして、地域資源の再発見と磨き上げ、受入体制の整備、観光コンテンツの充実、情報発信を行っている。

(公職等)

- ・(特活)日本エコツーリズムセンター 世話人(平成19年～)
- ・熊本県高齢者が活躍する地域コミュニティづくりアドバイザー(平成22年～)
- ・熊本県ツーリズム・コンソーシアム運営委員(平成21年～)
- ・第10回全国グリーンツーリズムネットワーク熊本阿蘇大会 実行委員(平成23年)
- ・熊本県 火の国未来づくりネットワーク 企画運営委員(平成19年～)
- ・トヨタ自動車Gazoo mura 親ブロガー(平成20年～平成22年)
- ・(特活)NICE(日本国際ワークキャンプセンター) 監事/理事(平成5年～平成21年)
- ・熊本県立宇土中学校 宇土未来探求講座 アドバイザー(平成21年～)
- ・熊本県菊池市グリーンツーリズム推進協議会 事務局(平成19年～平成22年)
- ・熊本県地域産業担い手育成プロジェクト 評議委員 (平成19年～平成22年)

### 実績

■(1995年～2002年 NICE 事務局長) 日本・アジア地域における「国際ワークキャンプ」の企画・運営、及び、新規に開催を希望する国のNGOに対する参加者募集、キャンプリーダー育成、プログラム企画のコツ等のコンサルティングを海外90カ国弱の団体と連携して実施。NPO/NGOのネットワーク構築、及びプログラム品質管理のためのトレーニング・プログラムの企画開発も担っていた。職員を退職後も、理事・監事・評議員・地方事務局設立準備員として関わっている。

・国際ワークキャンプ(2～3週間) 主催:21カ国で853回。国内外の9736名が参加。派遣:95カ国に9232名が参加。

・週末ワークキャンプ(1日～3日) 主催:34都道府県で1716回。20675名が参加。

・中長期ボランティア(2ヶ月～) 主催:16都道府県で136回。国内外の478名が参加。派遣:24ヶ国に673名が参加。

■(2004年～2010年 きらり水源村 事務局長) 全戸参加型のNPO法人の設立と中学校跡地を改修し、地域住民を体験指導者としたグリーンツーリズム、及び地域づくりの取り組みを推進した。

・来た人が友達・知り合いを連れてくる(リピーター率 64%)

・地域住民に根差した施設 利用率(菊池市民74% 水源区民48%)

・地域の「ホンモノ」を提供する(きらりびと37名が先生になる)

・長期滞在(無賃滞在⇔無償奉仕)5年間で50カ国から682名が来訪(うち、28%が10日以上)

<きくちふるさと水源交流館 データ推移>

平成13年～15年 近所の野良ネコ、暴走族、犬の散歩コース

	来館者	滞在者	決算額 (備考)	職員数
平成16年	15344人	3810人日	1,987千円(青少年長期滞在)	2名
平成17年	18324人	1848人日	6,909千円(青少年長期滞在)	2.5名
平成18年	16062人	886人日	14,313千円(施設改修工事)	4名
平成19年	27263人	1850人日	37,464千円(料金徴収開始)	6名
平成20年	32365人	1768人日	35,657千円(補助削減)	7名

## 工夫した点や苦勞した点

- ・平成18年からの5年間、熊本大学医学部の新入生オリエンテーション合宿を学生会と企画し、12～13の食農自然体験プログラムを約120名に実施し、地域の予防医療に不可欠な思想「医は食に、食は農に、農は自然に学べ」を伝える。
- ・中高一貫教育校の熊本県立宇土中学校で「総合学習の時間」を活用した郷土学習、キャリア教育、自然農業体験を教職員と企画。1年次に天草・御所浦で漁師体験と漁家民泊、菊池・水源で稲刈り体験とキャンプ生活実習、2年次に阿蘇・高森から阿蘇縦走登山とキャンプ実習、3年次に天草・御所浦で無人島サバイバル生活体験を実施した。
- ・熊本県内11の旧農業高校と協働し、近い将来は就農して地域リーダーとなる生徒に対して、3年間の宿泊型の自然・農業体験プログラム＋一流人による講話(小野田寛郎、小林崇、柿沢直紀、)を企画。受講生が、松下政経塾の主宰する第五回中学生・高校生 立志論文コンテストで最優秀賞、及び優秀賞を受賞。
- ・企業(トヨタ自動車 e-TOYOTA部 Gazoo mura)、ファンド(ap bank)、マスコミ(テレビ、ラジオ、雑誌等)と地域NPOのマッチングによる地域全体の広報戦略を策定、トヨタ社長の豊田章男氏も来館し、食農体験を行った。
- ・117名の地域人材資源の発掘、磨き上げ、及びクロスメディア(マスメディア×ソーシャルメディア)による発信を担う。FM福岡と連携し土曜 9:30～9:55「茶のくに八女は楽しい」を放送、番組情報や取材の様子はブログで配信中。

## ひとことPR

高校生の時、本当の幸せって何だろうと考えた。そして、クラスの仲間と『その後の桃太郎』という劇を作った。鬼ヶ島から持ち帰った宝物を村の人々に分け与えると、村人はすっかり怠け者になってしまう。これではいけないと、桃太郎一行は宝物を鬼ヶ島に返しに行く。すると宝物を失ってはじめて額に汗して働くようになった鬼たちは、低血圧や高血圧で青や赤だった顔色も良くなり、働くことの意味を知り、みんな仲良く楽しく暮らしていた。桃太郎はその姿を見て「本当の幸せってなんだろう？」と考え、再び旅に出る。この桃太郎は、僕自身の人生を表している。「地域に暮らす幸せとは？」と問いながら、地域固有の幸福量増加をプロデュースするため、走り回ります。

## ○参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1 地域経営改革		7 まちなか再生
	2 地場産品発掘・ブランド化	○	8 若者自立支援
	3 少子化対策		9 安心・安全なまちづくり
	4 企業立地促進		10 環境保全
	5 定住促進		11 その他
○	6 観光振興・交流		

### 関連ホームページ

Gazoo muraプロジェクト(トヨタ)	<a href="http://gazoo.com/mura/chumoku/suigen.asp">http://gazoo.com/mura/chumoku/suigen.asp</a>
(社)日本森林技術協会	<a href="http://www.jafta.or.jp/13_sanson_hp/jirei/yamajikara/jireiH2084.html">http://www.jafta.or.jp/13_sanson_hp/jirei/yamajikara/jireiH2084.html</a>
NICE(日本国際ワークキャンプセンター)	<a href="http://www.nice1.gr.jp/">http://www.nice1.gr.jp/</a>

### 連絡先

メールアドレス	kobakamono[アットマーク]hotmail.com	その他
---------	-------------------------------	-----

※メールを送る際は[アットマーク]を『@』に変えてください。

